

# 平成29年度 地方公共団体定員管理研究会（第5回）

## 議 事 要 旨

1. 開催日時：平成30年2月15日（木） 13：00～15：00  
開催場所：経済産業省 別館1107会議室  
出席委員：西村座長、浅羽委員、大谷代理委員、小西代理委員、原澤委員、  
原田委員

（委員は五十音順）

### 2. 議事経過

- (1) 平成29年地方公共団体定員管理調査結果について
- (2) 民間委託に対応した定員モデルについて
- (3) レーダーチャート案について
- (4) 報告書案について

### 3. 意見交換の概要

- 民間委託に対応した定員モデルについて
  - ・ 衛生部門において、ごみ収集委託率を説明変数として採用して回帰分析を行い、今回示された結果が、今年度に限ったことなのか、それとも傾向として続いているといえるのかは、注意が必要だろう。
  - ・ 自治体にとって定員モデルが使いやすいものとなるためには、なぜこの説明変数を採用したのか、その理由を説明し、納得をいただけるかどうかが大変になる。
  - ・ ごみ処理における「委託率」を検討するうえでは、ごみ処理にかかる業務フローの一部を委託した場合や、面積や地区で分けて委託した場合など、委託の背景等も調べる必要があるのではないかと。
  - ・ 民間委託対応モデルの検討にあたって、保育については統計的に難しいといったことや、ごみ収集の中でもどのような説明変数をとればよいのかを、引き続き議論すべき。
  - ・ 自治体においては、定員モデルも参考にしながら、自治体の事情も踏まえて、どういう委託をしたから定員に影響があるのかということ、掘り下げて検討していただければどうか。
  - ・ 民間委託を定員モデルに反映させるうえで、ごみ処理のようにもともとはすべて行政がサービス供給を行っていた分野と、保育のように従来から多元的なサービス供給のプロセスがあった分野とでは、考え方が少し異なる。

○ レーダーチャート案について

- 他の類似団体の定員モデルを作成し、レーダーチャートで比較できれば、自治体においてより定員モデルが活用されるのではないか。
- レーダーチャートの結果を他の自治体と比較することで、自分の団体の定員配置の特徴や、その理由、要因について気づくことができ、それをきっかけに深掘りして定員管理を検討することもできるだろう。
- 定員管理を検討するにあたって自分の団体の立ち位置を確認したり、現状の取り組みの裏づけができる点で、部門別のレーダーチャートは非常に役に立つと思う一方、将来を見据えた定員管理を考える際、「部門」で定員をコントロールするのはなかなか難しい。
- レーダーチャートの結果を経年的に見ていくことで、自分の団体の体質が見えてくるのではないか。